

気象業務開始150周年 「気象庁」が監修する本!

毎日の天気はどうやってわかるの?地球は本当に温暖化しているの?
キキクルって何?緊急地震速報とそのしくみは?



2025年3月新刊

こども気象庁



毎日の天気だけではなく、線状降水帯、台風、地震、津波、火山噴火など大きな被害をもたらす現象を観測・監視して、人の命を守るための防災情報を発表している気象庁。この本ではマンガと楽しいイラストで、普段ニュースなどで耳にする気象・地震火山に関する用語や現象はもちろん、あまり知られていない気象庁の仕事も紹介しています。



気象庁の仕事を紹介!

マンガとイラストで楽しく学べる



様々な自然災害に対して、
どのタイミングでどのような準備をすべきかなど、
自分や家族の命を守るための「防災」対策も楽しく学べます。

日本の最東端にある南鳥島気象観測所、
南極地域観測隊、海洋気象観測船など
観測の現場で働く人たちも登場!

【ターゲット】

- 小学校高学年の子ども、その親
- 図書館、学校関係者

〈構成〉

- 1章 気象を観測する
- 2章 未来のために地球を観測
- 3章 毎日の天気と危険な天気を予測
- 4章 大地の異変を観測

2025年3月末~6月(予定) 国立科学博物館(気象庁監修) 気象観測150周年企画展「地球を測る」開催

2025年1月24日受注締切 / 3月5日搬入予定

書店番線印

新刊委託

こども気象庁

監修:気象庁

ISBN:978-4-405-07397-5 定価:1,800円+税 4C 208P A5変型判

ご担当

冊

様



新星出版社

営業担当:

〒110-0016 東京都台東区台東2-24-10
TEL: 03-3831-0743(代)

ご注文は
営業本部FAXまで

03-3831-0758 (fax)

2024.11.20作成①